

日ごろの取り締まりが効を奏し、▶
 昨年、町内での交通事故による死
 傷者は、前年より大幅に減少した。

1 線

県政第



▼巡回連絡で、住民と温かい交流。地域との結び着きが、一層深められる。

明るい町 づくりに 全員出動

葛巻警察官派出所

だれもが安心して暮らせる町
 —それを身近なところで、日夜
 支えているのが、警察官派出所。

北上山地の真っただ中にある
 ここ岩手警察署葛巻警察官派出
 所では、館石巡査部長以下3名、
 県央と県北・沿岸をつなぐ酪農
 地帯を背景に、地域と一体とな
 って、防犯や交通安全活動を進
 めている。

紫波郡に匹敵する広い町が管
 轄なので、町内を3地域に分担。
 外勤警察の基本的な仕事である
 巡回連絡、警らをはじめ、交通

指導隊（隊員12人）との協力の
 による交通指導取り締まり、青少
 年の非行防止など、町民生活の
 安全と秩序維持を図っている。

純朴温厚な町民性だけに、地
 域に溶け込んだ活動も積極的に
 展開。老人ホームの慰問、小中
 学校での安全教室、困りごと相
 談、防犯診断など、“親しまれる
 警察活動”が実践されている。

日ごろの地道な活動が効を
 して、昨年、県内での交通事故
 による死者が151人と、前年を
 大きく上回ったなかで、葛巻町

では、死者1人（前年比2人減）、
 負傷者17人（同31人減）と大幅
 に減少した。

昨年9月には、無線が整備され、
 県警察本部や隣接の4警察署と
 の迅速な連絡体制も敷かれた。

●このような県内各地の第1線
 警察官の活躍で、犯罪や事故の
 ない明るい郷土が、着々と築か
 れている。

▼月1回、町内の養護老人ホームを慰問。交通安全
 指導や身の回りの相談などに気軽に応じている。



▲派出所内での困りごと相談は、年間50件ぐらい。
 やはり、農村地域に関係した相談が多い。



▲マスコミの浸透、交通の発達などで青少
 年の非行も心配される。厳しい寒さのな
 か、夜間のパトロールで監視の目。